



超我の奉仕

本 庄

ロータリークラブ会報

NO 43-10 第2069回 例会 9月15日 2005年9月22日 発行
2005~2006年度国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 第2570地区ガバナー 野中弘之
会長/野村正行 会長エレクト/渋谷修身 副会長/武井包光 副会長/中村 孝 幹事/温井一英

本日の例会

新世代のための月間

卓話 「方位・方角について」
城立寺住職 加藤玄静 氏

進行 SAA 藤井 仁 サブ
点鐘 午後12時30分 野村正行 会長
ソング 「それでこそロータリー」

会長の時間 野村正行 会長



皆さん今日は。残暑が続いています。

ロータリーカレンダー9月は、「新世代のための月間」です。皆さん、ガバナー月信NO3に「新世代月間にちなんでのタイトルで、ガバナー初め、地区の新世代部門の役員の方々がそれぞれ書いています。

暦での9月は、1日が二百十日、18日が十五夜、23日がお彼岸の季節です。特に十五夜の満月は詩に「名月や月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」と歌われた有名な歌であります。今はその月も科学技術の発達によって、当時宇宙飛行士のアーム・ストロング船長によって、月面着陸がなされました。そうしたことによって月光にも季節は変わろうとしています。又、色々と風流さにおいても趣が薄らいってしまったようでもあります。

その様な中でも今日卓話をお願いしています加藤会員がお話する「方位学」はこの時代社会の中において十分活用されています。私も非常に興味があり期待しています。よろしく願いいたします。

連絡事項

- 地区の国際奉仕部門セミナーの開催について案内が参っております。場所日時は熊谷市ホテルサンルート熊谷に於いて10月22日(土)13時よりです。
- 本庄市観光協会視察研修会のご案内を頂きました。期日10月30日日比谷公園「江戸天下祭」視察です。
- 本庄市上里町暴力排除・防犯のまちづくり推進大会及びキャンペーン及び街頭キャンペーン開催の案内が参っております。

幹事報告 温井一英 幹事



- 2004~05年度のガバナー月信の合本が届いています。
- ボランティアセンターより「ぼらんていあにゆうす」が届いています。
- 麻薬、覚せい剤乱用防止センターから本日もう1度募金を図りますので、宜しく願いいたします。これが最後で、本日送金いたします。

私事で申し訳ありませんが早退させて頂きます。

ご挨拶

金井澄雄 会員



体調を崩し長い間欠席して、申し訳ありませんでした。

中村先生には大変お世話になっております。

皆様から色々な励ましを頂き、これからはロータリーに出席出来るよう頑張ります。

ガバナー補佐をさせて頂きました折は、皆様のお陰で大役を勤める事が出来、本当にお世話になりました。至らない私ですが、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

委員会報告

三宅健吉 社会奉仕委員長

9月10日第1回社会奉仕部門セミナーに出席して参りました。

今年度の社会奉仕事業計画の発表が2つのクラブより行われました。



- ・新狭山 RC—CO2 削減温暖化防止計画
- ・深谷 RC—市民と RC による渋澤栄一翁の清瀨公園に 150 本の桜の植栽

引き続き、春山茂之地区社会奉仕副委員長によるアイバンク登録促進についてのお話があり、昨年度事業の地区100人に愛の光を継続事業として今年度も力強く推進して行くこと。また、角膜を必要とする人は年間2万人おりますが、角膜の提供者は2000件に満たない状況であり、昨年330名の登録を頂きましたが、本年度はもっと増やしたい。最後にアイバンクの理解は先ず登録からと訴えられ、参加者の共感を呼んでおられました。

続いて、2770地区田村亮夫パストガバナーがロータリーと奉仕についての講演をされ、社会奉仕は求められて行くものではなく、自ら探して行くものであると、そして、奉仕の語源はサービスであり、サービスには無償ばかりでなく有償もあり、これらの奉仕にはこの意味のサービスを加え継続的に行うことが望ましく、奉仕の目的に青少年の育成を加え、特に子供の育成事業を10年20年と断続的に行う事が望ましいと結んでおられました。

田中 克 ロータリー家族委員長



ロータリーの家族の方には是非ロータリーを理解して頂き、親睦を図る目的から、10月27日(木)「紅葉の昇仙峡とぶどう狩り」を企画し、会長、幹事には、移動例会の許可を頂きましたので、お知らせいたします。

1日楽しく親睦を深めて頂き、特に新入会員の方には是非ご参加頂き、一刻も早く家族共々ロータリーをご理解頂きたいと思っております。

中島高夫 広聴広報委員長

9月21日発行の情報誌「ひびき」に本庄ロータリークラブの紹介と野村会長方針が掲載されます。

役員6名の方には協賛頂きお礼申しあげます。



立石秀寿 米山奨学委員長



10月は米山月間です。

2570地区では3,150万円の目標を掲げております。会員1名あたり15,000円です。

当地区の奨学生は20名です。昨年当クラブより56万円の特別寄

付の実績をあげました。

本年も会員の時受のご協力をお願いいたします。

コニコボックス 西村賢次 委員

(敬省略)



本日は加藤ガバナー補佐(城立寺住職)卓話よろしくお願ひいたします。

(同文にてご投入頂きました)

坂本雄一	渋谷修身	福島文江	中島高夫
田中 克	笠原 勝	町田国彦	下山正男
萩原達夫	春山茂之	松原幹男	岡崎正六
梅村孝雄	八木成幸	戸谷 丈	立石秀寿
石原輝弥	中村 孝	野澤章夫	野村正行
矢島淳一	渋谷健司	茂木 聡	西村賢次
武井包光	佐藤賀則	金子 弘	三宅健吉
岩淵富男	竹並栄一郎		

加藤玄静

卓話でお世話になります。

金井澄雄

出席免除会員とはいえ、ご無沙汰致して申し訳ありません。本日はお元気な皆様方にお目にかかれて喜びで一杯です。

温井一英

幹事として大変申し訳ありませんが、本日早退させていただきます。

今泉憲治

外国で日本語の勉強会に招かれ、国際交流を深めて来ました。

岩本英人

20日喜寿の誕生日、2人で観劇に行ってきました。

近藤伸侑

高崎小学6年生の孫が9月17日の運動会で選手宣誓をしますで行って来ます。

藤井 仁

ニコニコ委員会の皆様ご苦労さまです。

本日ニコニコ合計 37,000円

出席報告 金井直樹 委員

(敬省略)



会員数	出席免除会員数	出席義務会員数	出席員数	出席率
77名	7名	70名	48名	68,5%

メーカーキャップ数0枚

欠席届出者

井河久昇	岩堀 薫	岡芹正美	内野昭八郎
斉藤清一	関根 貢	高柳育行	戸谷清一
沼田恵義	野口光大	橋本恒男	横尾弘明
杉山淑子			

矢島淳一 プログラム委員長



本日のプログラムの企画は、会員の皆様に「面白くて為になる」という事から加藤直前会長に「方位・方角について」のテーマで卓話をして頂きます。

ガバナー補佐、城立寺住職と大変お忙しい所お時間を割いて頂き有難うございます。宜しくお願ひいたします。

卓話

「方位と方角について」

城立寺住職 加藤玄静 氏



「日本人の方位観はいかに形成されたか」

地球が自転しているという知識を得る以前には、当然の事ながら東から日が昇り、西に沈むと

いう自然現象の経緯を得ることが根本にあった。

アイヌやアフリカの諸民族に南北の認識が希薄なことを考えると南北より東西の認識が、より方位として早く認識されていたことが伺えよう。

また、地球は太陽の周囲を公転しているという知識を得ることは、ある方位が一定の基準、たとえば今自分が居る位置に対してどのような角度と距離があるのかという認識が芽生え、方位が明確な存在となって認識されることが根本にあった。

そうした経験を経て、人間は自らの位置とそこからの距離や方位に対する認識をもちえてくるのです。

それでは、具体的にどのようにして人間は方位を認識したのであろう。方位を示す方法として、主に「四主点」と「四隅点」が使用され、東洋ではそのほかに「十干・十二支」の利用がよく知られている。

そのほか、方位は空間的な方位認識だけでなく「陰陽五行説」や十干、十二支、「易の八卦」を配して、人間の禍福の占いや人生の進路、方針、物の見方、考え方などを鑑定する事に使用された。

1. 生活に密着している家相・方位・方角

良い家相は、住む人の心をプラス面に増長させる。悪い家相は、住む人の心をマイナス面に衰退させる。

2. 地図は北が上か

3. 十干・十二支について

十干

10を周期とする十干は、陰陽五行説と結びついて、甲、乙、丙、丁・・・きのえ、きのと、ひのえ、ひのと・・・と別表になった。つまり、五行説の木、火、土、金、水がそれぞれ陽と陰、兄と弟に別れて十干になる。兄(え)と弟(と)なので「えと」となるが、現在では六十干支を指すようになっている。

十二支

十二支とは、子、丑、寅と12の周期で月を表す記号でもあったが、これを覚えやすくするために動物を割り振ったものである。十二支は、月だけでなく、年や日、時間、また方位にも割り当てられた。

先人の家相ジンクスあれこれ

五虚の家に住みと次第に貧する

五虚とは

1. 家が大きすぎて住む人が少ない
 2. 門が大きくて住まいが小さい
 3. 外回りが整っていない
 4. 水回りの位置が悪い
 5. 広すぎる土地に小さな住まい
- この逆を五実の家といい吉相となる。

仏壇、神棚の位置

経営者として成功する家相

一般的に注意する事項

1. 門は人の出入りが目的で設けられています。南東の門は“辰巳の門”といわれ、皆様ご存知の通り良相とされています。この方位は“信用”“整う”という良い暗示があります。
2. 門を作ると、どうしても塀を作りますが、一般住宅としてはなるべく低く品良くするのが良い相となります。
3. 水入れは池は、必ず東南方位に造ること。枯池はその他の方位でも良い。
4. 年の変わりは、節分を以って行う。(春夏秋冬)
5. 表札は家の外部からみて、開口建具の右側で高すぎず低くすぎずをよしとし、目線より少し上の一間程度を目安とする。左サイドというのは、陽(プラスの気)の影響を受けて、発展して行くという方位である。

家を建築(増改築)する時に行う儀式について

建築の式典は、地方によっても、神社、仏閣によっても多少の異なりはあります。主として「地鎮祭」「上棟式」「竣工式」の三つの式典が行われます。また、大きなビル建築などの場合には「定礎式」が加わります。

地鎮祭とは、土の上に建物を建てることを前提としたもので、その土地の邪気退散と吉祥清浄を祈念すること。

地祭りとは、現加持に当たって土地に付く迷霊を供養する。又、土地に付く邪気を除くための払い供養をいう。

上棟式とは、殿堂、家屋の棟木を上げるにあたり工匠等が神を祀って行う儀式で、上棟祭ともいう。

方災除とは、方位、地相、家相、厄除け等の一切の災禍守護の祈願。

八方除とは、入居する時や鬼門等の家相、地相、方位上の問題がある時には、八方除の護祈願を行う

家相方位鑑定 井戸埋祈禱(樹木伐採・池・等)

広聴広報委員会 中島高夫・杉山淑子・岩本英人・笠原 勝・西村賢次

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>